



AMG耳鼻咽喉科専門研修プログラム

専攻医募集案内

上尾中央総合病院



耳鼻科医の道を選ぶ皆さんへ



耳鼻咽喉科 科長
研修プログラム統括責任者
大崎 政海

耳鼻咽喉科・頭頸部外科の守備範囲は、頭蓋底から上縦隔に至ります。ここには聴覚・嗅覚・味覚などの重要な感覚器があり、呼吸や嚥下、音声言語など生きるために重要な器官があります。小児から高齢者までの全年齢層に対して、この領域の炎症性疾患や腫瘍、アレルギー疾患や外傷などを内科的及び外科的両側面から診断し治療を行います。

ことに頭頸部悪性腫瘍治療では近年、高齢者や重複癌症例、糖尿病や脳梗塞、心疾患や肝腎機能障害、呼吸機能障害などの合併症を有する症例が増加しており、全身疾患の管理も求められております。また治療においては外科や形成外科、脳神経外科、歯科口腔外科との合同手術、放射線治療科や腫瘍内科とのチーム医療が不可欠です。

これからの医療では単に技術革新を取り入れるのみならず、患者さん個々の状態を重視した診療が重要です。以上の医学的社会的状況を踏まえて、より質が高く実践的ですぐれた臨床能力を持つ専門医の育成を目的に、当院の専門研修プログラムを作成いたしました。ぜひ、この研修プログラムで4年間の研鑽を積み、幅広い分野において専門性を有する耳鼻咽喉科・頭頸部外科の専門医として21世紀の国内外の医療に貢献されることを願います。

皆様と切磋琢磨し、社会のニーズに応えられる最高の医療を提供できますことを心から楽しみにしております。

病院の特徴

当院は1964年12月に11床の上尾市立病院を前身として設立し、これまで地域住民の信頼と支持を得て発展してきました。現在では733床の急性期医療を中心とした総合病院となり、また2015年12月には地域医療支援病院の指定を受け、上尾市のみならず埼玉県県央保健医療圏の基幹病院として重要な役割を果たしています。

また、首都圏を中心に28病院を有する上尾中央医科グループの中枢として、積極的に医療の質の向上に取り組むと共に、患者本位の医療サービスを提供することを心がけ、日本医療機能評価、プライバシーマークなどの第三者評価を受審しています。

さらに、高度最新医療機器の導入も積極的に行っており、2013年にはダビンチサージカルシステムを導入、2014年にはハイブリッド手術室を新設し、また2015年3月にはTAVIを導入するなど最先端の医療にも取り組んでいます。

当院は基幹型臨床研修指定病院であり、2015年には看護師の特定行為に関わる研修についての指定研修機関(特定行為13区分)の認可、2016年には臨床修練等指定病院の指定を得ています。また毎年、指導医のための教育ワークショップや緩和ケア研修会を主催しており、教育病院としても積極的に取り組んでいるとともに、2017年には中村記念講堂を新設し教育および研究環境の充実を図っています。



プログラムの特色

◆ 地域に貢献する医療

地域における耳鼻咽喉科、頭頸部外科診療の中核病院として救急疾患から悪性腫瘍までの幅広い疾患に対応できます。
基本的な知識と診療技術を学び耳鼻咽喉科の標準的医療ができるように教育を行います。さらに専門的分野への理解を深め、最終的には各自が当該分野での専門医になり地域医療に貢献できることを目標とします。

◆ 耳鼻咽喉科の全分野に専門性を有する

耳鼻咽喉科は聴覚、平衡覚、味覚、嗅覚などの感覚機能に加え、呼吸や嚥下、音声・言語などの生きていくための基本的な機能に関わっています。さらに頭頸部悪性腫瘍では、他科領域と連携して集学的治療を行い、どの分野においても偏りなく症例を経験することができます。

◆ 豊富な症例経験数で即戦力のある専門医を育成する

基幹施設および連携施設における外来症例数、手術件数ともにプログラムが定める到達目標を遥かに超えています。
本プログラムは、研修終了時に基本的疾患の治療において独り立ちができることを前提としたカリキュラムです。

◆ 都内大学病院を連携施設とし、基本的な臨床知識と手技を身につけることができる

基幹施設である上尾中央総合病院は日本大学医学部附属板橋病院、日本大学病院、東京女子医科大学病院、東京都立広尾病院、独立行政法人国立病院機構埼玉病院、川口市立医療センター、河北総合病院、彩の国東大宮メディカルセンターを連携施設としています。大学病院では基本的な臨床知識と手技を身に付け、当院では高度な手術手技を含めた実戦力を身に付けることができ、連携市中病院では主治医として独り立ちする機会を経験することができます。耳鼻咽喉科におけるすべての分野において質の高い医療を提供することができる医師を育成することが、当研修プログラムの目指すところです。

◆ 学術面でのサポート体制も整っている

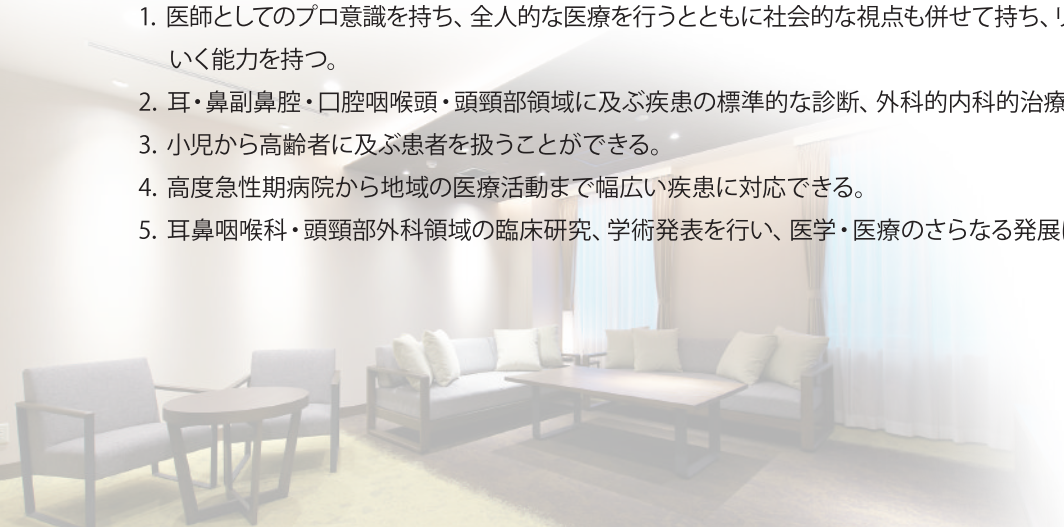
この研修プログラムは、日本専門医機構が定めた耳鼻咽喉科専門研修施設の医療設備基準をすべて満たしており、日本専門医機構に認定されています。研修の評価や経験症例の登録は日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会による耳鼻咽喉科領域のオンライン登録で行い、定められた研修到達目標は4年間の研修終了時に全て達成されます。研修中の評価は施設毎の指導管理責任者、指導医、専攻医が行い、最終評価をプログラム責任者が行います。4年間の研修中に規定された学会で2回以上の発表と、筆頭著者として学術雑誌に1編以上の論文執筆を行います。

◆ 専門研修管理委員会の設置

本プログラムの管理、評価、改良を行う委員会が設置されています。（構成委員：院長、科長、連携施設の指導管理責任者、プログラム担当者）

到達目標

1. 医師としてのプロ意識を持ち、全人的な医療を行うとともに社会的な視点も併せて持ち、リーダーとして医療チームを牽引していく能力を持つ。
2. 耳・鼻副鼻腔・口腔咽喉頭・頭頸部領域に及ぶ疾患の標準的な診断、外科的内科的治療を行うことができる。
3. 小児から高齢者に及ぶ患者を扱うことができる。
4. 高度急性期病院から地域の医療活動まで幅広い疾患に対応できる。
5. 耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域の臨床研究、学術発表を行い、医学・医療のさらなる発展に貢献することができる。





基本プログラム
標準的週間スケジュール例

基本プログラムAコース・Bコース

■モデルケース（※原則として各連携施設での研修期間は3ヶ月以上とする。）

	1年目	2年目	3年目	4年目
A1	基幹	連携Ⅰ	基幹	基幹
A2	基幹	基幹	連携Ⅰ	基幹
A3	基幹	基幹	基幹	連携Ⅰ
B1	基幹	連携Ⅰ / 連携Ⅱ	基幹	基幹
B2	基幹	基幹	連携Ⅰ / 連携Ⅱ	基幹
B3	基幹	基幹	基幹	連携Ⅰ / 連携Ⅱ
C1	基幹	基幹	連携Ⅰ	連携Ⅱ
C2	基幹	連携Ⅰ	連携Ⅱ	基幹

■基本プログラム

A2コース（例）

1年目 / 2年目
基幹施設(上尾中央総合病院)で医療人としての基本姿勢を身につけ、代表的な疾患への正しい対処法を習得する。スペシャリストの手技に触れ、耳鼻咽喉科専門医としての基礎を育む。頭頸部腫瘍症例では合併症を有していることが多いため、専門科と連携し全身管理を行う。経験した症例の学会発表を行う。

3年目
連携施設Ⅰにて研修を行う。大学病院特有の高度な専門性を有する疾患を経験する。各種疾患の初期対応を経験し、主治医としての姿勢を身につける。学会発表を行う。

4年目
基幹施設で耳鼻咽喉科領域のプライマリー疾患に対する診断および治療を、主治医として責任をもって行えるように実地経験を積む。自ら治療方針をたて手術執刀から術後管理まで行えるように研修をする。また、その地域特有の現場を体験することにより、社会貢献・地域貢献への意識も高めていく。興味のある領域について一層研鑽を積み、論文発表をする。

B1コース（例）

1年目
基幹施設(上尾中央総合病院)で医療人としての基本姿勢を身につけ、代表的な疾患への正しい対処法を習得する。スペシャリストの手技に触れ、耳鼻咽喉科専門医としての基礎を育む。頭頸部腫瘍症例では合併症を有していることが多いため、専門科と連携し全身管理を行う。経験した症例の学会発表を行う。

2年目
連携施設（Ⅰ.Ⅱ）において、1年目に学んだ事を活かしながら、より専門性の高い疾患や悪性疾患の診断治療を経験する。耳鼻咽喉科および関連各科の最先端の医療を経験しながら、より広い視野での医療経験を積む。学会発表を行う。

3年目 / 4年目
1-3年目での経験をもとに基幹施設において研修を行い、耳鼻咽喉科領域のプライマリー疾患に対する診断および治療を主治医として責任をもって行えるように実地経験を積む。自ら診療方針をたて、手術執刀から術後管理まで行えるように研修をする。埼玉県の医療を担う人材としての自覚を持って、社会貢献・地域貢献への意識も高めていく。興味のある領域について一層研鑽を積み、論文発表をする。

＊やむを得ない事情により、研修病院が上記から変更になることがある。

標準的週間スケジュール例

	月	火	水	木	金	土
午前	専門外来	手術	手術症例検討会 手術	手術	科長回診 抄読会 多職種症例検討（毎週）	病棟業務
午後	検査 病棟業務	専門外来 手術	手術	検査 手術	入院症例検討会 専門外来	（休み）

- 必要な当直業務を行う。
- 各施設主催の講習（医療安全、感染対策、医療倫理、各種教育のための研修等）に規定数参加する。
- 休みは、チーム内で日程を調整して曜日を決める。
- 夏期・冬期休暇あり。
- カンファレンスや勉強会へは積極的に参加する。

連携施設のご紹介



指導体制

群	施設名	施設の特徴
基幹施設	上尾中央総合病院	・専門性の高い最先端医療　・希少症例の経験　・救急疾患多数 ・頭頸部癌の豊富な症例数、高度な手術手技　・耳鼻咽喉科全領域の疾患経験
連携施設Ⅰ	日本大学医学部附属板橋病院	・大学病院として専門性の高い最先端医療　・指導医や専門医による専門性と質の高い研修 ・耳鼻咽喉科全領域の基本知識、手技の習得
	日本大学病院	・大学病院として専門性の高い最先端医療　・複数の指導医や専門医からのより専門的な、質の高い研修 ・全国トップクラスの音声関連手術件数
	東京女子医科大学病院	・新宿区に位置し、本邦有数の外来患者数　・1000床以上のベッド数を有する東京圏地域医療中核病院 ・高度急性期から地域医療活動まで幅広い診療を経験できる ・女子医療職の教育機関という建学理念のもと、出産や育児へのサポート体制が充実
連携施設Ⅱ	東京都立広尾病院	・プライマリー症例、救急症例が豊富であり、基本的な診療、手技、手術を経験できる ・少人数ゆえに一人当たりの症例数は手術を含め多数経験でき、主治医として治療計画を立てられる
	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	・地域の基幹病院としての救急医療の充実　・小児科など他科との連携によるチーム医療の充実 ・耳鼻咽喉科全般の豊富な症例
	川口市立医療センター	・市中央部に位置する地域医療支援、がん診療拠点、基幹災害拠点病院である ・悪性腫瘍以外の急性期疾患と、口蓋扁桃摘出術や内視鏡下副鼻腔手術、唾石症や唾液腺良性腫瘍などの手術症例を扱う
	河北総合病院	・杉並区の中核病院であり紹介患者が豊富　・小児症例、急性疾患、救急疾患、良性疾患が豊富 ・耳鼻咽喉科全般の幅広い領域のプライマリー疾患や基本手技を多数習得経験 ・チーム医療の中で主治医として診断治療を経験
	彩の国東大宮メディカルセンター	・公園に隣接し自然豊かな環境　・2019年4月に新設 ・鼻出血、めまい、急性炎症などの救急症例が豊富、高齢者が多い

連携施設のご紹介



1 日本大学医学部附属板橋病院
所在地：東京都板橋区大谷口上町30-1
病床数：988



2 日本大学病院
所在地：東京都千代田区神田駿河台1-6
病床数：320



3 東京女子医科大学病院
所在地：東京都新宿区河田町8-1
病床数：1,128



4 東京都立広尾病院
所在地：東京都渋谷区恵比寿2−34−10
病床数：408



5 独立行政法人国立病院機構埼玉病院
所在地：埼玉県和光市諏訪2−1
病床数：550



6 川口市立医療センター
所在地：埼玉県川口市西新井宿180
病床数：510



7 河北総合病院
所在地：東京都杉並区阿佐谷北1−7−3
病床数：353



8 彩の国東大宮メディカルセンター
所在地：埼玉県さいたま市北区土呂町1522
病床数：337

基幹施設と連携施設マップ



2027年4月～

基幹施設概要

名　称：医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院
所在地：埼玉県上尾市柏座1-10-10
院　長：兒島 憲一郎
設　備：ハイブリッド手術室
手術支援ロボット ダビンチXi：2台、ダビンチSP：1台、
CT（マルチスライス320列1台、256列1台、64列2台）、
血管造影装置（バイプレーン：3台）、
MRI（3.0T：2台、1.5T：1台）、
RI（SPECT-CT：1台、ガンマカメラ：1台）、
一般撮影：7台、X線TV：6台、
骨密度測定装置：2台、腎尿結石破砕装置、
リニアック：2台、他

基幹施設の診療科目

内科／循環器内科／消化器内科／脳神経内科／糖尿病内科／腎臓内科／血液内科／呼吸器内科／呼吸器腫瘍内科／肝臓内科／アレルギー疾患内科／感染症内科／腫瘍内科／緩和ケア内科／心療内科／小児科／産婦人科／外科／整形外科／脳神経外科／心臓血管外科／消化器外科／肝臓外科／乳腺外科／呼吸器外科／気管食道外科／肛門外科／内視鏡外科／小児外科／泌尿器科／女性泌尿器科／耳鼻いんこう科／頭頸部外科／眼科／形成外科／美容外科／皮膚科／麻酔科／救急科／放射線診断科／放射線治療科／病理診断科／臨床検査科／リハビリテーション科／歯科口腔外科／総合診療科（院内標榜）／膠原病内科（院内標榜）／臨床遺伝科（院内標榜）

アクセスマップ

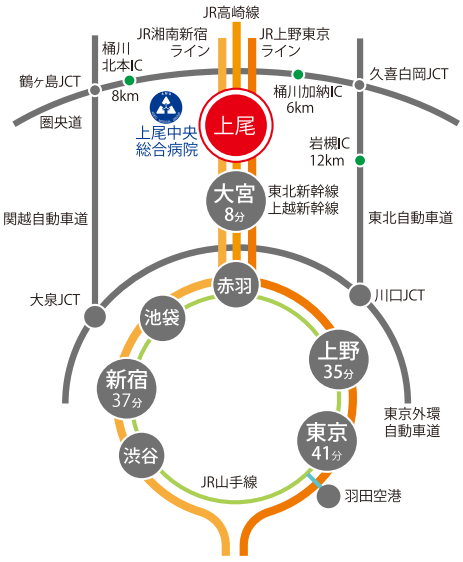
上尾駅からのご案内 ----▶ 上尾駅より徒歩3分

【電車でお越しの方】　JR高崎線 上尾駅西口より徒歩3分
【市内循環バスでお越しの方】“ぐるっとくん”「上尾中央総合病院」停留所で下車
【お車でお越しの方】　駐車場あり
※駐車場（有料）の台数には限りがございますので、できる限り公共の交通機関でご来院頂きますようお願い致します。



交通のご案内

大宮から　JR高崎線：約8分
上野から　JR高崎線：約35分
新宿から　JR湘南新宿ライン：約37分
東京から　JR上野東京ライン：約41分



医療法人社団 愛友会
上尾中央総合病院
〒362-8588　埼玉県上尾市柏座1-10-10
TEL.048-773-1111（代表）　FAX.048-773-7122
URL https://www.ach.or.jp
担当：人事課秘書係（臨床研修担当）
Mail：ishi_jinji@ach.or.jp
2027年4月～

日本医療機能評価機構 認定第 GB52-4号
Medical LAB RML01320
プライバシーマーク 14000024